



伊藤正信議員

JR弥富駅西側踏切周辺の安全対策を

問

駅付近（JR弥富駅西側）の踏切の安全対策、道路標識をきつちりと定め、住みやすく整備してほしいがどうか【下図・関連記事6面】。JR踏切南側の電柱を移設すれば、交通が見直せるのではないか。

答 市長

駅周辺整備は当面さまざまな形で調査し、関係者と協議を進めていこうと思っている。

踏切は、緊急対策として地元区長とも相談し、交通指導（人員配置）で安全対策を講じられないかと思っている。

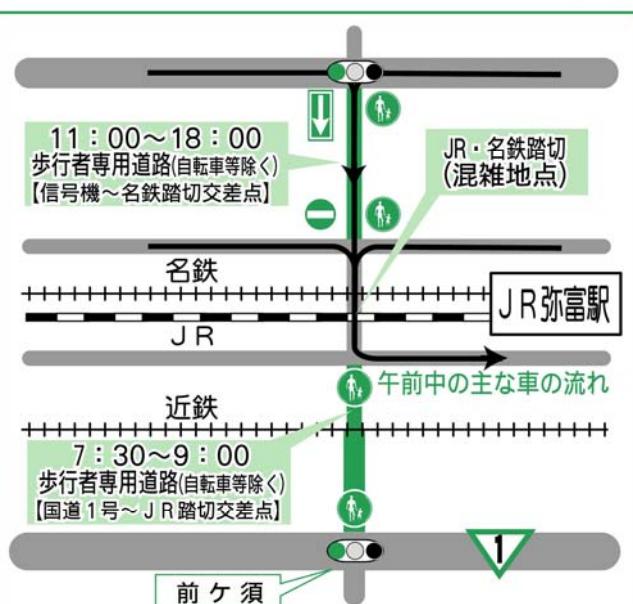
警備員の配置を考えている

法定計画策定が必要である

方針としてコミュニティバスへの移行や有料化（の検討）があるの

で、法に基づいた計画を策定しなければならない。

このため法定協議会に名称を変え、議会に名前を変える。



巡回福祉バス（見直し）は、なぜ法定協議会を設置するのか【関連記事9面】。

答 教育長

弥富中学校から（近隣の）水田にボールが飛んでいく状態の設備は、どう対応するのか。

テニスコートと隣地の境

バス見直し法定協の設置理由は

協議していくということであります。

今後、要綱を策定していく

界に、5mの防球ネットを設置している。できる限り早い時期に2mほど高くするよう整備を図っていく。

4m未満の農地の狭い道路は舗装しても、農作業機械の大型化により、路肩が破損し通行上危険を伴う。県内6市1町が狭隘（ひ狭い）道路拡幅整備事業に取り組んでおり、内容をよく調査・研究し、今後要綱を策定していく。

狭い道路の一日も早い解決を